

第2回「メタ研究」研究会

学際的な共同研究の内部者によるラボラトリー・スタディーズ：「実用的な」解釈とコミュニケーションの往還

趣旨

複雑化する社会課題解決のために、自然科学と人文・社会科学にまたがる学際研究の重要性がますます高まっている。他方で、分野を超えた協働は容易ではないとされ、科学を対象とした人文・社会科学の研究ではその困難と原因について論じられてきた。しかし、実際の共同研究の遂行は、内部者による暗黙知や経験則によってその方法が模索されるに留まっている。こうしたことから、報告者たちは、内部者として参与した学際的な共同研究プロジェクトを対象にして、そこでの内部者としての経験や内省、あるいはメンバー間の（ディス）コミュニケーションの実態を記録・記述・分析してきた。本研究会では、こうした内部者としてのラボラトリー・スタディーズ（人文系の研究者による工学・自然科学の営みについての参与観察を通じた研究）の具体例とこうした研究のもつ意義を提示する。そして、こうした研究が、内部者による自らの研究についての研究であるがゆえに、研究の成果とそれをめぐる解釈それ自体が研究者間のコミュニケーションの一部となり、そのコミュニケーションもまた新たな解釈と研究対象を生み出す往還に特徴をもつこと、さらには、この研究会自体がそうした解釈とコミュニケーションの現場として捉えられることを議論する。

プログラム

主催： 公益財団法人日立財団 倉田奨励金「社会課題解決を目指す学際的な共同研究の内部者によるラボラトリー・スタディーズ——学問分野の垣根を越えた融合とは何か？」

日時： 2024年3月27日（水）10:00～12:30

場所： 名古屋大学 環境総合館 6階 616 輪講室

10:00-10:30 報告1（中尾世治：京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科）

10:30-11:00 報告2（片岡良美：名古屋大学大学院環境学研究科）

11:00-11:15 休憩

11:15-11:25 コメント1（三上直之：名古屋大学大学院環境学研究科）

11:25-11:35 コメント2（原田英典：京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科）

11:35-11:45 コメント3（牛島健：北海道立総合研究機構建築研究本部北方建築総合研究所）

11:45-12:30 ディスカッション

報告

1. 自分たちのやっていることを自分たちで考え直すこと：解釈の「実用的な」意義と工学的人文学の探求

報告者：中尾 世治

本報告では、本研究会の報告者2名がおこなってきた、研究者自身が自らの参与した工学を中心とした学際的な共同研究プロジェクトを分析する、という研究を振り返りつつ、こ

うした研究のあり方にどのような意義があるのかを論じる。報告者らによる研究は、オートエスノグラフィーとして自身の経験と思考を内省的に記述するということから始まった。この試みは、自らの参与する共同研究プロジェクトを対象としているがゆえに、独自の意義と可能性を有していることに気づかされ、片岡氏とより本格的な研究へと移行させていった。本報告では、自らの共同研究のあり方・異分野間コミュニケーションを「メタ的に」捉えることで、それらを自覚的に操作可能なものとするものの実践とその意義に焦点をあてる。そして、こうした「メタ的な」研究が「実用的な」解釈を生産する装置として機能することを述べる。最後に、この営み自体が工学的人文学として捉えうることを述べ、この操作的な思考の例として、人文学的工学がどのようにありうるのかという問いを提示する。

2. 異分野間コミュニケーションの「困難」とは何か？：サニテーションプロジェクトの研究合宿の事例から

報告者：片岡 良美

環境問題などの社会課題解決に資する学術研究のあり方として、異分野研究者の協働による学際研究の重要性が広く認識されている。一方で、学際研究の困難や、学際研究における分野間の不均衡などが指摘され、実際にそうした困難をどう乗り越えるかは、未だに当事者の暗黙知や経験則によって模索されるに留まっている。本報告では、報告者が参与した総合地球環境学研究所における学際的な共同研究プロジェクトで、プロジェクト3年目に行なわれた2日間の研究合宿を分析対象とし、異分野間の「文化の違い」は、コミュニケーション的困難の要因なのか、また、何がコミュニケーション的困難なのかを検討する。こうした分析の結果から、異分野間のコミュニケーションでは「文化の違い」を逆手にとって議論を喚起しているとも考えられること、異分野間のディスコミュニケーションは、むしろ、コミュニケーションに与えられるべき意味についての相互理解の欠如によって認識されていることを明らかにした。そのうえで、最後に、本研究のもつ「実用的な」意義について述べる。

問い合わせ先

名古屋大学大学院環境学研究科 社会環境学専攻 環境政策論講座
片岡良美 (y-kataoka@eng.hokudai.ac.jp)

* ご参加いただける方は予め片岡までメールでご連絡ください。